

# 自治会でつながろう

宮崎市に引っ越してきたミヤさんご一家。「自治会」に入るかどうか悩んでいる様子。ミヤさんたちの素朴な疑問に自治会加入歴50年のザキさん夫婦が答えます。



ミヤさん夫

ミヤさん妻

**ミヤさん夫(ミヤ夫)** 自治会に入っていないのですが、どんな活動をしているのですか？

**ザキさん夫(ザキ夫)** 祭りや避難訓練などに年に数回の行事のほか、普段は地区内の清掃やごみ集積所の管理、防犯灯の維持管理などもしています。

**ミヤさん妻(ミヤ妻)** お祭りにはぜひ参加してみたい。集積所の管理もありがたいし、防犯灯のおかげで夜道も安心。地域のためにいろいろなことをしているんですね。

**ザキさん妻(ザキ妻)** 当たり前すぎて、

普段は感じないこともかもしれないけど、地域住民が協力して行っているんですよ。ただ、最近は高齢化が進んでいるから、若い人に入ってもらえると本当にうれしい。

から暮らしていく地域のことをもっと知りたいし、皆さんとも仲良く暮らしていきたい。日頃から見守りなど、子どもたちのことを気にかけてくれる人がいたらと思います。

「お互いさま」の気持ちで

**ミヤ夫** ただ、僕たち二人とも働いているので、平日はあまり動けないし、休日も子どもの行事があつて。正直に言つと、少し面倒くさいという気もしています。

「まずはできることをできる範囲で」

**ザキ夫** 宮崎市には現在、728の自治会があり、加入世帯数は97619世帯。任意とはいえ、地域づくりは一人ではできないし、継続してやっていくものだから、ぜひ多くの人に自治会へ入ってほしい。まずは自分の

地域でつながりを



地域コミュニティ課 地域自治係 末元慎吾

できることをできる範囲ですること、一緒に居心地のいい地域をつくっていきましよう。

**ミヤ夫** そう言ってもらえれば、入りやすいです。転動してきた同僚にも自治会に入ることを勧めてみます。

**ザキ妻** 自分の住むところの自治会がわからない場合は、市の地域コミュニティ課に連絡すると、どの自治会なのか教えてくれますよ。

**ミヤ夫・妻** では、これから同じ地域に住む者として、よろしくお願います。

**ザキ夫・妻** こちらこそ、よろしくね。



ザキさん夫

ザキさん妻

## 自治会活動のいろいろ

盆踊り、収穫祭、スポーツ大会など、子どもから大人まで参加できるアクティビティも。今年はコロナウイルスの影響で中止が相次いでいますが、多くの人が来年の開催を願っています。

楽しむ



安全なまちづくりにも自治会は一役買っています。子どもたちの登下校の見守り、防犯灯の設置、管理なども。太田北自治会では「子ども食堂」で食から住民の生活を見守ります。

守る



日頃の防災への啓発活動(写真は防災コーディネーターによる講話)のほか、災害の危険がある場合、速やかな避難を勧めたり、高齢者など避難が難しい人の支援も。

備える



地区内の美化活動やごみ集積所の管理など環境整備も自治会が担っています。平和が丘自治会では歩道脇などの花壇の手入れも。回覧板、広報紙の配布も自治会活動の一環です。

心地よく暮らす



## 自治会長さんに聞きました!

平和が丘自治会 時任孝俊さん

昨年50周年を迎え、約1000世帯を抱える同自治会を11年間会長として支える時任さん。会員の超高齢化に直面していますが、女性に比べ外出の機会が少ない男性高齢者向けに、弁当とビール付きで500円の「ワンコイン語ろう会」を企画するなどのアイデアも。「福祉、防災と課題は多いが、複数年計画で解決してきました。ここは戸建ての人も集合住宅の人も仲が良く、子どもたちも元氣よく挨拶するまち。私自身、自治会活動が楽しく、元氣をもらっています」と時任さん。



パークヴィラ佐土原自治会

原田かおりさん

約3年前から入居が始まった分譲地で、昨年5月に設立した自治会。高鍋から勤務地である佐土原に引っ越すことになり、地域活動に熱心な知人の勧めをきっかけに新規設立となりました。「設立に向けて近所の人と助け合うことで、話す機会が増え、楽しいことばかり。役員も働き盛りの人たちですが、会則づくりなどもSNSや共有サーバーを駆使して行いました」と原田さん。コロナ後に懇親会が開けることを楽しみにしています。

